

入学者の選抜に関すること (学力検査等の内容・合否判定方法の方法及び基準・合理的配慮の 提供に関する対応方法)

1. 学力検査等の内容

【入学者選抜方針（本科）】

入学者の選抜は、多様な学生を選抜するため、

A 日程では、特進推薦入学試験、学校長推薦入学試験、専願 A 入学試験

B 日程では、専願 B 入学試験、併願 B 入学試験

C 日程では、専願 C 入学試験、併願 C 入学試験

を行います。

A 日程では、中学校等を卒業・修了見込みで出願要件を満たした者を対象とします。

特進推薦入学試験の選抜は、特別進学コースの学習に必要な学力と適性を提出書類（推薦書・調査書）及び学科試験（英語・数学・理科）の結果から評価するとともに面接結果と併せて総合的に評価します。なお、特進推薦入学試験が不合格の場合で出願時に学校長推薦入学試験を第 2 希望として選択している時は、学校長推薦入学試験出願と同じ扱いで再選抜します。

学校長推薦入学試験の選抜は、一般コースの学習に必要な学力と適性を提出書類（推薦書・調査書）から評価し、面接結果と併せて総合的に評価します。

専願 A 入学試験の選抜は、一般コースの学習に必要な学力と適性を提出書類（調査書）及び学科試験（英語・数学・理科）の結果から評価するとともに面接結果と併せて総合的に評価します。

B 日程では、中学校等を卒業・修了見込みの者又は中学校等を卒業・修了した者を対象とします。

専願 B 入学試験及び併願 B 入学試験の選抜は、特別進学コース又は一般コースの学習に必要な学力と適性を提出書類（調査書）と学科試験（英語・数学・理科・国語・社会）の結果から評価します。また、専願 B 入学試験においては面接結果も併せて総合的に評価します。

なお、専願 B 入学試験で特別進学コースが不合格の場合で出願時に一般コースを第 2 希望として選択している時は、専願 B 入学試験 一般コースと同じ扱いで再選抜します。併願 B 入学試験で特別進学コースが不合格の場合で出願時に一般コースを第 2 希望として選択している時は、併願 B 入学試験 一般コースと同じ扱いで再選抜します。

C日程入学試験では、中学校等を卒業・修了見込みの者又は中学校等を卒業・修了した者で出願要件を満たした者を対象とします。

専願C入学試験および併願C入学試験は、一般コースの学習に必要な学力と適性を提出書類（調査書）及び作文から評価するとともに面接結果と併せて総合的に評価します。

※学科試験は、記述式方式で学力や適性を評価するだけでなく、思考力、判断力、表現力を問う問題も出題します。また、B日程入学試験の国語では、志望理由や入学後の抱負、ものづくりに対する興味等について述べる問題も出題します。

※面接試験は、志望動機だけでなく、科学技術やものづくりに対する興味や学習意欲、コミュニケーション能力、協調性、チャレンジ精神、リーダーとしての経験、主体性をもって多様な人々と協働した経験なども評価します。

【入学者選抜方針（編入学/外国人留学生入学者含む）】

本校は、社会に貢献するための広い視野からものづくりを考え、それぞれの専門分野の知識と工学的素養をもって、考えたものを実現していく創造力あふれる実践的技術者の育成を目指しています。

この目標を達成する高い可能性を持った生徒の選抜を行います。多様な学生を選抜するため、指定校推薦編入学試験、学校長推薦編入学試験、一般編入学試験、自己推薦編入学試験を行います。

指定校推薦編入学試験の選抜は、受験資格を満たし、高等学校の在籍学科・コースと受験コースが同一で、かつ、本校が指定する在籍高等学校長が責任を持って推薦した学生で、学習意欲や目的、適性について提出書類（志望理由書・調査書）から評価します。また、科学技術やものづくりに対する興味や関心、コミュニケーション能力、協調性、主体性を持って多様な人々と協働した経験、受験コースの学習に必要な基礎的学力についての面接を行い、総合的に評価します。

学校長推薦編入学試験の選抜は、受験資格を満たし、在籍高等学校長が責任を持って推薦した生徒で、受験コースの学習に必要な基礎的学力と適性、学習意欲や目的について提出書類（志望理由書・調査書）から評価します。また、科学技術やものづくりに対する興味や関心、コミュニケーション能力、協調性、主体性を持って多様な人々と協働した経験、受験コースの学習に必要な基礎的学力と専門知識についての面接を行い、総合的に評価します。

一般編入学試験の選抜は、受験資格を満たし、各コースの学習に必要な共通の基礎的学力について記述式の学科試験（英語・数学）と特定の科目ではない文献や資料に対する考えや、これまでに身に付けたスキルや経験、多様な人々と協働した経験について論述試験の結果及び適性について提出書類（調査書）から評価します。また、科学技術やものづくりに対する興味や関心、コミュニケーション能力、受験コースの専門知識について面接を行い、総合的に評価します。

自己推薦編入学試験の選抜は、受験資格を満たし、学習意欲や目的、学業又は課外活動等で一芸に秀でた実績や成績についての自己アピールと受験コースの学習に必要な学力及び適性を提出書類（自己推薦書・調査書）から評価します。また、科学技術やものづくりに対する興味や関心、コミュニケーション能力、協調性、主体性を持って多様な人々と協働した経験、受験コースの学習に必要な基礎的学力と専門知識について面接を行い、総合的に評価します。興味や関心、コミュニケーション能力、協調性、主体性を持って多様な人々と協働した経験、受験コースの学習に必要な基礎的学力と専門知識について面接を行い総合的に評価します。

【入学者選抜方針（専攻科）】

本校では、社会の技術発展に貢献するための広い視野からものづくりを考え、それぞれの専門分野の高度な知識と幅広い工学的素養をもって、考えたものを実現していく開発型技術者の育成をめざしています。

この目標を達成する高い可能性を持った学生の選抜を行います。多様な学生を選抜するため、推薦入学試験、一般入学試験、自己推薦入学試験を行います。

推薦入学試験の選抜は、出身学校長が責任を持って推薦した学生で、学修意欲や目的、適性について提出書類（志望理由書・調査書）から評価するとともに、科学技術やものづくりに対する興味や関心、コミュニケーション能力、協調性、専攻科の学修に必要な工学の基礎的学力についての面接を行い、総合的に評価します。

一般入学試験の選抜は、専攻科の学修に必要な工学の基礎的学力と適性について記述式の学科試験（英語・数学）の結果及び提出書類（調査書）から評価するとともに、学修意欲や目的、科学技術やものづくりに対する興味や関心、コミュニケーション能力、協調性について面接を行い、総合的に評価します。

自己推薦入学試験の選抜は、出願要件を満たし、かつ、自分自身を強くアピールできる学生で、学業又は課外活動等で秀でた実績、学修意欲や目的、適正について提出書類（自己推薦書・調査書）から評価するとともに、自己推薦書内容の詳細、科学技術やものづくりに対する興味や関心、コミュニケーション能力、協調性、専攻科の学修に必要な工学の基礎的学力についての面接を行い、総合的に評価します。

2. 合否判定の方法及び基準について

本科 1 年入学者の合否判定の方法及び基準について

A 日程

- 特進推薦入学試験
調査書、推薦書、学科試験（英語・数学・理科）、面接から総合的に判定する。
- 学校長推薦入学試験
調査書、推薦書、面接から総合点を算出し判定する。
- 調査書、学科試験（英語・数学・理科）、面接から総合的に判定する。

B 日程

- 専願 B・併願 B 入学試験
調査書、学科試験（英語・数学・国語・理科・社会）、面接から総合的に判定する。

C 日程

- C 日程入学試験
調査書、志望理由書、作文（国語）、面接から総合的に判定する。

〈合否判定の基準〉

筆記試験：各学科試験の結果を評価

作文：表記と内容の各項目を評価

- ・表記（誤字脱字、語法、文法、文語、分量）
- ・内容（明確性、具体性、簡潔性、独自性、構成）

面接：本校アドミッションポリシーをもとに、

- ・志望理由や将来の進路
- ・中学校までの学業・生活・課外活動
- ・身だしなみ、マナー

等を項目ごとに評価する。

本科 4 年編入学者の合否判定の方法及び基準について

A 日程

- 指定校推薦・学校長推薦編入学試験
調査書、推薦書、面接から総合点的に判定する。
- 一般編入学試験
調査書、学科試験（英語・数学・論述総合問題（国語））、面接から総合的に判定する。

B 日程

- 指定校推薦・学校長推薦編入学試験
調査書、推薦書、面接から総合的に判定する。
- 一般編入学試験
調査書、学科試験（英語・数学・論述総合問題（国語））、面接から総合的に判定する。
- 自己推薦編入学試験
調査書、自己推薦書、面接から総合的に判定する。

C 日程

- 自己推薦編入学試験
調査書、自己推薦書、面接から総合的に判定する。

〈合否判定の基準〉

筆記試験：各学科試験の結果を評価

論述・総合問題：表記と内容の各項目を評価

- ・表記（誤字脱字、語法、文法、文語、分量）
- ・内容（明確性、具体性、簡潔性、独自性、構成）

面接：本校アドミッションポリシーをもとに、

- ・志望理由や将来の進路
- ・中学校までの学業・生活・課外活動
- ・専門科目に関する口頭試問（指定校・学校長・自己推薦は数学等基礎科目も含む）
- ・身だしなみ、マナー等を項目ごとに評価する。

専攻科入学者の合否判定の方法及び基準について

A 日程

- 推薦入学試験

調査書、推薦入学志望理由書、面接から総合的に判定する。

- 一般入学試験

調査書（卒業見込者のみ）、卒業等証明書・成績証明書（既卒者のみ）、履歴書（既卒者のみ）、学科試験（英語・数学）、面接から総合的に判定する。

B 日程及び C 日程

- 自己推薦入学試験

調査書（卒業見込者のみ）、卒業等証明書・成績証明書（既卒者のみ）、履歴書（既卒者のみ）、自己推薦書、面接から総合的に判定する。

〈合否判定の基準〉

筆記試験：各学科試験の結果を評価

論述・総合問題：表記と内容の各項目を評価

- ・表記（誤字脱字、語法、文法、文語、分量）
- ・内容（明確性、具体性、簡潔性、独自性、構成）

面接：本校アドミッションポリシーをもとに、

- ・志望理由や将来の進路
- ・中学校までの学業・生活・課外活動
- ・専門科目に関する口頭試問（推薦・自己推薦は数学等基礎科目も含む）
- ・身だしなみ、マナー

等を項目ごとに評価する。

3. 合理的配慮の提供に関する対応方法

【障がいのある人、不慮の事故による負傷者・疾病者の受験及び修学上の配慮に関する申し出について】

ア 身体機能障がい・発達障がい等、また疾病・負傷により、受験時及び入学後の修学に配慮を必要とする場合は、原則として出願する1カ月前までに、本校（電話（0595）41-0111）の教務部に申し出てください。受験予定のすべての入試制度・日程で申し出が必要です。事前に診断書等の書類を提出していただくことがあります。また、出願後の不慮の事故等による負傷・急な疾病等で受験時に特別な配慮と措置を希望する場合は、至急教務部に申し出てください。なお、入学試験の可否に影響することはありません。

イ 特別な配慮を希望する場合、試験地は「本校試験会場」に限る場合があります。

ウ 申請に基づいて障がい等の程度に応じた配慮を行いますが、ご希望に沿えない場合もありますので予めご了承ください。